

2014年11月5日
四国電力株式会社

2014年度第2四半期決算 会社説明会
主な質疑応答

- Q. 今年度通期の利益水準、および期末配当の見通しは。
- A. 下期は、修繕費や委託費等の検収に伴う費用負担増が見込まれることや、上期のような豊水による需給関連収支の改善などの一過性要因は期待できないものの、通期ベースでは、4期連続赤字の回避に向けた取り組みを継続することにより、黒字転換を目指してまいります。
期末配当については、安定的な利益水準を確保できる見通しを得たうえで、財務状況や先行きの事業環境なども総合的に勘案して判断したいと考えております。
- Q. 今後の電源開発に対する考え方は。
- A. 電気事業の将来を見据えた場合、競争力のある電源を保有・活用することが、一層重要になってくるものと認識しています。次期電源については、将来の需給動向や既設ユニットの経年劣化状況、維持管理コストなどを総合的に勘案しつつ、既設電源のリプレース等も含めて判断したいと考えております。
- Q. 伊方発電所2号機の新規制基準への適合性確認審査の申請時期の見通しは。
- A. 現在は、伊方3号機の日も早い再稼働実現を最優先課題と位置づけ、審査対応に万全の体制で臨んでいるところであり、3号機での知見を踏まえて2号機の申請を進める予定です。
- Q. 今後の財務目標は。
- A. 現在、伊方発電所全号機停止に伴う業績の悪化を背景に、自己資本比率は20%程度まで低下していますが、中長期的には25%を一つの目安として着実に回復を図っていく必要があると考えております。

以上